

医療問題検討委員会条例は

医療計画策定に併せ制定



矢野 昭三 議員

どういうことか問う。

次に、医療、福祉、介護等は住民の声を直接聴くことが必要と考えるが、どのような取り組みをしているか。

また、運転免許返納者、交通弱者等に対する姿勢を問う。

問 まず、大方町佐賀町合併協議会は、「佐賀町の国民健康保険（直営）診療所及び出張診療所について、現行の通り新町に引き継ぐ」「佐賀町医療問題検討委員会において、長期的地域医療の体系を確立するため、佐賀町医療問題検討委員会を置く」「町の医療体制の確保に関すること、その他町長が必要な事項について調査審議する」と決定しているが、現在の黒潮町にはその条例がない。

答 松本町長

まず、拳ノ川診療所に医師を職員として招く事が出来た。医療計画を策定する中で医療問題検討委員会条例を制定したい。次に、専門家等で組織する委員会が意見を募集する手法をとっている。座談会等会場にて発言することは勇気がいる。

全ての方の意見が出るか疑問なので、あったかふれあいセンター事業等の計画に集約して生かす。

交通弱者等については、公共交通等始め、あったかふれあいセンターによる買い物、通院等移動支援サービスを実施している。今後の対策案としてオンライン服薬指導に加えオンライン診療導入を検討している。患者と診療所医師がオンライン回線で医療行為を行う。自宅に居ながら診療や薬剤の受け取りが可能になる。また、路線バス等これまで以上に移動手段の確保が問題になるため施策を検討する。

交通安全対策

不破原地区 事故原因は

運転者の前方不注意

問 国道56号不破原地区内において交通事故が多発しているが、原因を問う。

また、事故を回避するため、黄線にするか、上り方面に追い越し車線を作るかを関係機関と検討すべきではないか。

答 松本町長

先日の事故原因は、高知市方面への走行車が、



カーブの向こう…“危い”（国道56号不破原地区）



追い越しのため対向車線に出たこと。これにより、四万十市方面へ走行中の車に衝突し、さらに後続の車3台が絡んだ事故となった。負傷者7名、救急車やヘリで搬送されたが、命に別状はなかった。

3時間ほど大渋滞と大混乱となる中、地区住民には大変協力して頂きありがたく思っている。

また、事故は2年で15件と多い状況。その中で、住民が安全に暮らせる道づくりを町として要望する。

この実態を踏まえて、道路の形状変更が良いか。

追い越し車線が良いか
 交省、警察、公安委員会と協議する。
 【その他の質問】
 ・産業振興について
 ・防災について